

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 〇 月 〇 日

沖縄県知事 殿

代表者印、社印等は押印しないでください。

法人の代表者もしくは処理計画書の作成単位である支店等の代表者を記載してください。

提出者

住所 沖縄県〇〇市〇-〇-〇

氏名 株式会社〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の処理に関する計画を作成したので、提出します。

建設業など、事業場（現場）が県内の複数の住所にまたがる場合は、
事業場の名称：県内各所（那覇市を除く）
事業場の所在地：県内各現場（那覇市を除く）
のように記入ください。

事業場の名称	株式会社〇〇〇〇 〇〇
事業場の所在地	沖縄県〇〇市〇-〇-〇
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

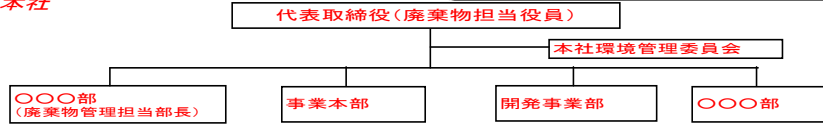
① 事業の種類	日本標準産業分類の中分類で記入
② 事業の規模	〇〇万円
③ 従業員数	〇〇人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>排出する産業廃棄物の種類ごとに、発生から最終処分が終了するまでの一連の処理工程を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> がれき類→再生利用業者へ処理委託、再生砕石として再資源化 木くず→再生利用業者へ処理委託、チップ（燃料用）として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

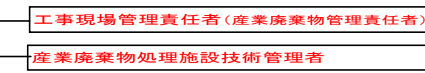
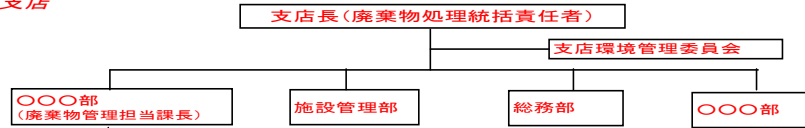
廃棄物処理に係る役割を記載した組織図等を記入。
※既存資料の添付可。ただし、個人名等は削除してください。

(管理体制図)

本社



支店



元号で記載してください。

廃棄物の種類が3以上ある場合は、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記載し、廃棄物の種類等がわかる別紙を添付してください。(以下の事項も同様)
※別紙の例も参照ください。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	がれき類
	排出量	〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) 設計・施工段階で廃棄物の発生抑制を考慮した工法を採用している。	
②計画	【目標】 計画期間における目標値を記載してください。	
	産業廃棄物の種類	がれき類 / 木くず
	排出量	〇〇〇 t / 〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) ・梱包材の簡素化に取り組む。 ・発生抑制に関する社内研修を定期的実施する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木くずは分別するとともに、石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え、石膏ボード、金属くず、紙くずについても分別を実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用に関する情報収集を行う。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) 実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
(今後実施する予定の取組) 選別施設等の設置を検討する。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	優良認定処理業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	再生利用業者への処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	〇〇〇 t
(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物を処理できる業者を適正に判断し、処理を委託している。 ・委託先処理業者には定期的に実地確認を実施している。			

中間処理後、再生利用されている場合(委託先で直接有効利用されるだけでなく、委託先から別の事業者で再生利用等されている場合を含む。)、その委託量を記入。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	再生利用業者への 処理委託量	〇〇〇 t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き、委託先処理業者には定期的に実地確認を実施する。 ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・電子マニフェストの導入を進めるため、電子マニフェスト対応可能な 処理業者から選定する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。